

令和7年度第1回塩竈市地域公共交通会議 議事録

日 時：令和8年1月22日（木） 10：00～11：00

場 所：塩竈市役所3階北側委員会室

出席委員：千葉会長、長尾委員、熊谷委員、伊藤委員、鈴木委員、郷家委員、菅原委員、猪俣委員、
関澤委員、清久委員、馬場委員、阿部委員（計12名）

欠席委員：川村委員、佐藤委員

事務局：塩竈市総務部政策課

1. 会議目的

本市におけるバス運行の実績等について報告するもの。

- （1）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和6年度実績報告（報告事項）
- （2）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和7年度実施状況（報告事項）
- （3）NEWしおナビバス利用者アンケート結果について（報告事項）
- （4）塩竈市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について（報告事項）

2. 議事要旨

[報告事項]

- （1）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和6年度実績報告について、事務局から説明

[質疑等]

委 員：選挙の期日前投票者の移動支援は利用者が39名、これは非常に結構なことである。今回もうすぐ衆議院議員総選挙が行われるが、広くわかりやすく市民の方に周知できれば、利用が増えて、国の補助もあるということであれば、価値のある取組。PRしたり、町内会で回覧をしたりすると効果的だと思うが、どのように考えているか。

事務局：周知が課題と認識している。令和6年度まではNEWしおナビバスのみだったが、令和7年度からはしおナビバスも含めて取組を行っている。バス停に貼紙をしたり、市の広報に載せたりといったことをしている。周知の方法を考えていきたい。

会 長：今事務局からあったとおり、以前は業務委託のジャパン交通様のみだったが、ミヤコーバス様のご協力もいただき、本市のコミュニティバスは両方利用できる。まだしおナビバスは使えないと思っている方もいらっしゃると思うので、非常に短期間にはなるが、周知に努めたい。

[報告事項]

- （2）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和7年度実施状況について、事務局から説明

[質疑等]

委 員：以前、両バス合計で約4千万円の赤字と聞いたことがあるが、運賃改定前から見ると赤字幅は狭まったと解釈してよいのか。

事務局：資料2の3ページ目（4）収支率をご覧くださいと、令和7年度見込で53.3%となっ

ており、赤字幅の比率が狭まっているのは事実。コロナ禍前は60.3%だったが、コロナ期間中には50%を切る状況になっていた。これを我々としては持続可能な運行のための課題と捉え、コロナ禍前の収支率に戻したいという目標で、運賃改定を行ったもの。令和6年度はコロナ禍前を上回る収支率に改善したものの、経費増加や利用者減少により令和7年度は53.3%に落ち込むことが見込まれている。

委員：利用者の減少について、色々と理由があり、これを対策すれば利用者が増えるとはなかなか言えないところが難しい。市民の足として利用されている近隣自治体のバスや民間路線バス、タクシーなどでも利用者が減少しているという状況もあるかと思うが、把握されているか。

事務局：我々で詳細に把握できているのがコミュニティバスのみで、他の事業者様の状況までは把握できていない。

委員：当社路線バスについても、はっきりした原因は把握できていないが、人口減少や高齢化で自然的に減少してきているのではないかと考えている。

会長：周辺自治体のコミュニティバスについても、詳しいデータはお聞きしていないが、やはり年々減少しているようだ。広域で連携してコスト削減など、アイデアベースでは出ているが、路線や時間帯も異なるため、今後の検討課題だと思う。

また、資料2の2ページ目の一番上にある、津波及び大雨による運行見合せというこれまでなかったケース。津波については沿岸市町村の共通課題だが、鉄道や民間路線バスもルールに従い運休をされる。自治体のコミュニティバスも全て自動的に止めるべきなのか、今後、県や他市町にもご相談したいと考えている。

[報告事項]

(3) NEWしおナビバス利用者アンケート結果について、事務局から説明

[質疑等]

会長：資料3の1ページ目の回答者属性の円グラフを見ると、60歳以上の高齢の方、無職の方が半数を占めている。性別は女性が多く、推測だが女性のほうが買い物などでの利用が多いだろうという推測になる。

3ページ目以降で分析を加えているが、ルート変更やダイヤ改正を行うと、どうしても運行時刻が早くなったり遅くなったり、所要時間が長くなったりで、利便性が高まる方と低くなる方それぞれいらっしゃるというのが見てとれる。こうしたアンケート結果を踏まえ、また利用状況も確認し、皆様方からもご意見をいただきながら、来年度以降さらなる見直しも検討する。

委員：塩竈市の特性として、高齢化が進んでおり、坂が多く道が狭い。高齢の方や免許返納された方の足をどう確保していくかが問題と思う。利用者が減っていくのがバス事業にとって一番の問題のため、財源が限られていることも理解しているが、バスを空のまま走らせるよりも、無料パスや定額パスなど、このアンケートで明らかになったターゲット層の方が使いやすい施策もしていただければと思う。

事務局：おっしゃる通り、我々もターゲット層の利便性を考え、またニーズもあったため、まずスーパーマーケット様などへ乗入れをしてみたところ。改めてアンケートでターゲットも絞れているため、どうすれば利便性が高まりもっと乗っていただけるかを追求していきたい。今後ご意

見をいただければと思う。

[報告事項]

(４) 塩竈市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について、事務局から説明

[質疑等]

質疑応答なし

3. その他

特になし